



2016年8月1日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電 話 番 号 03-6693-9571)

当社グループ会社(株)ジェネティックラボにおける
「札幌ライフサイエンス産業活性化事業 事業化支援補助金」採択について

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市)は、ノーステック財団^{※1}が行っている平成28年度「札幌ライフサイエンス産業活性化事業 事業化支援補助金」(以下、当該事業)に課題「Liquid biopsy(リキッドバイオプシー)の実臨床導入に向けた臨床検査パッケージの開発」として札幌東徳洲会病院附属臨床研究センターと共同で応募し、このたび採択されましたので、お知らせいたします。

記

1. 「札幌ライフサイエンス産業活性化事業 事業化支援補助金」の目的

当該事業は、ノーステック財団が札幌市内の企業と道内研究機関が共同して行うライフサイエンス分野の研究開発の事業化を促進し、札幌市の産業を活性化することを目的とする事業です。

2. 採択された事業

(1) 事業テーマ名

「Liquid biopsyの実臨床導入に向けた臨床検査パッケージの開発」

(2) 事業の概要

がん患者等の組織採取による「生検」に代わる低侵襲^{※2}検査として、血液等の体液サンプル検査するリキッドバイオプシーが注目されていますが、血液中に存在する遊離核酸遺伝子(cfDNA:セルフリーDNA)の変異定量解析に必要な精度が担保できる血液保存や輸送の標準化が課題となっています。これら課題の検討を行い、cfDNAの解析技術をいち早く「診療情報」として医療現場に届けるために必要なパッケージを開発し、実臨床導入を目指します。

(3) 採択企業

株式会社ジェネティックラボ及び札幌東徳洲会病院附属臨床研究センター

(4) 補助事業期間

交付決定後、2017年3月15日まで

(5) 補助金額

交付申請予定額:300万円

3. 交付金額と交付時期について

補助金額は、補助事業の実績を報告し、審査を経て確定します。そのため、現時点で確定した交付金額及

び支払時期は未定であります。

4. 今後の見通し

2017年3月期業績予想において、本件による収入を見込んでおりませんでした。本事業の採択による補助金収入が見込まれます。当期業績予想に与える影響は精査中であり、修正が必要な場合には、改めてお知らせいたします。

【株式会社ジェネティックラボについて】

2000年、北海道大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

◆ご参考

※1 ノーステック財団(NOASTEC)

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センターの略称。
未来へつながる研究の推進(基礎的・先導的研究への支援)、ビジネスの創出・拡大(実用化・事業化に向けた支援)、多様なネットワークの構築(ネットワーク形成に向けた支援)、研究施設の運営(貸ラボ)(産学官連携推進)を柱に各種産業振興支援活動を行っています。

※2 侵襲

外科手術などによって人体を切開したり、人体の一部を切除する行為や薬剤の投与によって生体内になんらかの変化をもたらす行為のことです。

以上